

担当者使用欄	
会社名	東京海上日動ファシリティーズ株式会社

事業所名	都内複合スポーツセンター	氏名	森原 光太郎
職種	清掃・設備・警備・その他 ( )	性別・年齢	男性 38歳

タイトル	熱中症の危険を察知・リスクの軽減
いつ	例年6月中旬～9月中旬 真夏日（最高気温30℃）予報が始まり、終わるまでの期間
どこで	主に建物外の清掃箇所において

どういう作業、動作をしていた時に・どんな場面で  
主に空調の効いていない清掃箇所での長時間労働時

ヒヤッとした・ハットしたこと

外構清掃や気温・湿度が高い環境での作業時に自身では気付かないうちに脱水症状を引き起こしており  
気付いた時には重症化しているというパターンが症例として多く、当現場の作業員に於かれても  
十分に可能性がある為、危険性を感じるに至る。

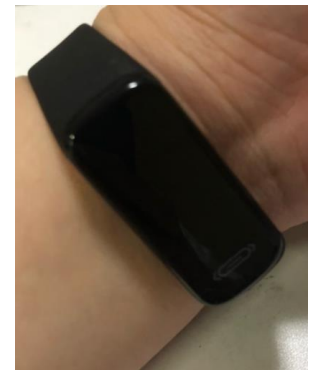
自分自身の状況 (該当する項目の口をクリック)

- |   |   |  |                                   |
|---|---|--|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 見えにくかった | <input type="checkbox"/> 忘れていた                | <input type="checkbox"/> 気が付かなかった            | <input type="checkbox"/> イライラしていた |
| <input type="checkbox"/> 知らなかった             | <input checked="" type="checkbox"/> 無意識だった    | <input checked="" type="checkbox"/> 大丈夫だと思った | <input type="checkbox"/> 手順を省略した  |
| <input type="checkbox"/> やりにくかった            | <input checked="" type="checkbox"/> 体調が良くなかった | <input type="checkbox"/> あせっていた              | <input type="checkbox"/> その他 ( )  |

原因

熱中症は症状度合いがⅢまで達成すると  
明らかな異常を自身として認識するが  
ⅡやⅠでは季節として夏なので暑いのが  
当たり前であるという意識から気づきづらい。  
※ここでいう熱中症の重症度分類Ⅰ～Ⅲは  
厚生労働省の定める基準。

対策①に関して



↑センサー箇所

↑検脈箇所に当てる様に装着

対策

- 水分や塩分を摂るという対策だけではなく  
自分自身の体調を自覚する為に  
可視化出来るツールを使用する。
- 作業シフトに暑さ指数 (WBGT) の  
概念を組み込む。

主にフィットネスマシンを使用する際に装着する  
脈拍が測れるスマートウォッチをスタッフに装着させ  
外構の清掃をする際に夏場の体温の上昇に伴う脈拍の  
上昇アラートを使用者に合わせて設定。脱水状態が進行  
すると脈拍は早くなる傾向にあるのでアラートが鳴った  
際には一度避暑し、水分補給をするようにして頂いた。

タイトル 熱中症の危険を察知・リスクの軽減

前ページ「対策②」に関して

<b>①</b>	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	外構 清掃			休憩				

通常シフト  
暑さ指数  
2.1未満

<b>②</b>	熱中症リスクの高い12時～14時は館内作業や休憩時間にあてる。							
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	○	○	○	◎	休憩	○	○	外
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

夏季シフト  
暑さ指数  
2.1以上  
2.8未満

<b>③</b>	②と同じ業務シフトだが、給水タイムを多く取る。							
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	○	○	○	◎	休憩	○	○	外
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

夏季シフト  
暑さ指数  
2.8以上

▲ …スマートウォッチ水分補給アラート

○ …館内作業

外 …外構作業

◎ …館内作業 特に空調等整っている清掃箇所

3パターンのシフトを用意、暑さ指数により行動予定は変更する。

- ① シフト…通年シフト・暑さ指数2.1未満の際に使用
- ② シフト…暑さ指数2.1以上、2.8未満の際に使用
- ③ シフト…暑さ指数2.8以上の際に使用

暑さ指数により作業箇所の実施順番を変更し、極力熱中症リスクを軽減する。

水分補給アラートは上記の赤い△の時間帯で脈拍を測る目的で装着したスマートウォッチが振動する様になっており振動する時間はあくまで目安であり、その限りではない。“喉が渴いたから飲む、ではなく“喉が渴いていなくても身体は乾いている、”という意識を持って頂くことが目的である。

清掃員の高齢化は深刻化しており高齢になると汗を掻いた際に毛穴が詰まり体温調節が若年層と比べ難しくなる為、首や腕など汗を掻いたらハンカチや汗拭きシートで小まめに拭き取る事も意識づけしている。

※先にシート1を記入し、スペースが足りない場合にシート2をご使用ください。